



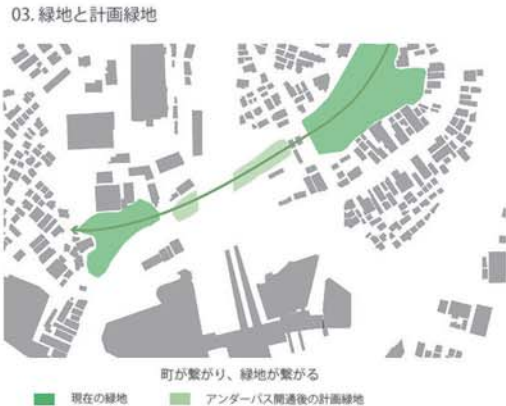
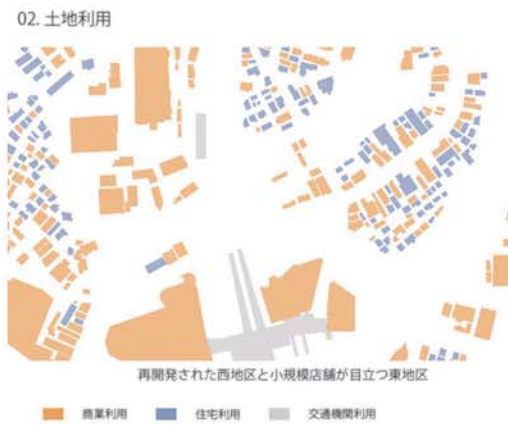
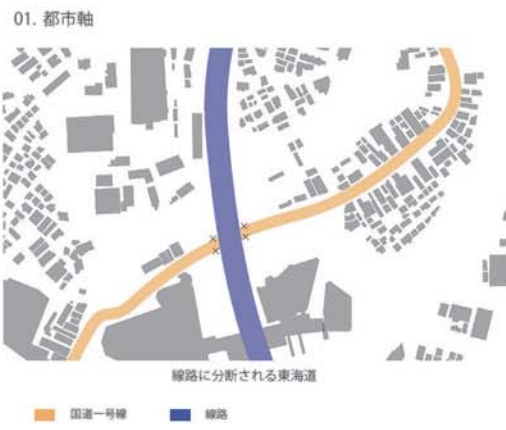
site 神奈川県戸塚区戸塚町

敷地は神奈川県戸塚区戸塚町。横浜市のベッドタウンとして位置づけられている町である。1日の乗者数11万人有する戸塚駅。駅周辺はかつて東海道の宿場町として駅東側を中心に栄えていた。しかし、鉄道の発達によって路線が増え戸塚駅踏み切りは開かずの踏切となり交通制限が設けられる(この時から箱根駅伝の中継地は戸塚駅を迂回する)。結果、駅の東西は分断され交流、交通が減り同じ町でありながら別の発展過程を経ることになる。



research 繋がる町

戸塚駅西側は再開発地域に指定され交通網を整備し、大型の商業施設が建設された。東側は小規模商店が目立ち、緑地が多くを占める閑静な住宅街が広がっている。だが数年前に住民たちの活動により東西を繋ぐ跨線橋、アンダーパスの建設が決定する。人々の手によって町は再び繋がろうとしている。

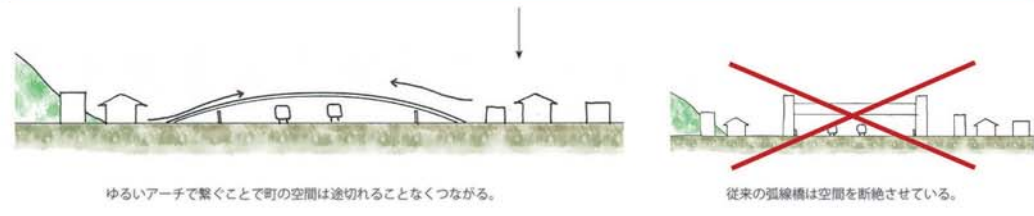
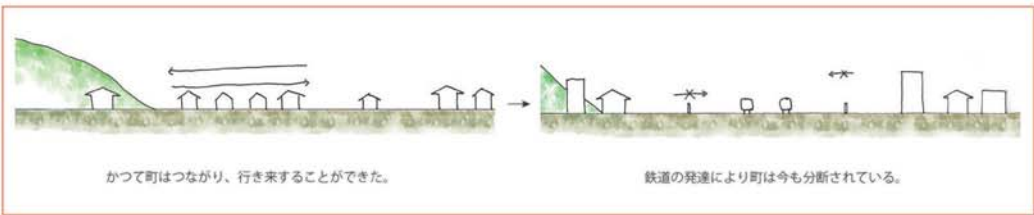


program 町の一部となる橋

踏み切りによって分断された地区を建築化された橋によって繋ぎなおす。橋の上の空間が構築され橋に交流、コミュニティが生まれ、やがて橋は町の一部となる。

01. 境界を作らない橋

線路によって分断された地区をゆるやかに繋ぐ。従来の弧線橋は町を繋ぐと言いながら分断していた。



02. 建築化された橋

橋は移動するための空間であった。建築化し空間を作ることで滞在、交流、コミュニティが生まれ町を繋ぐことができる。

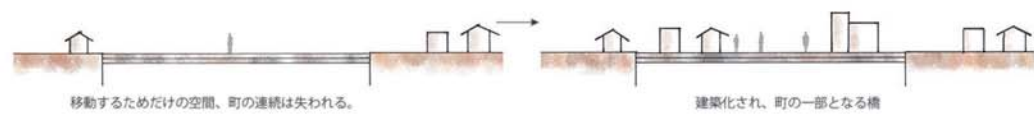
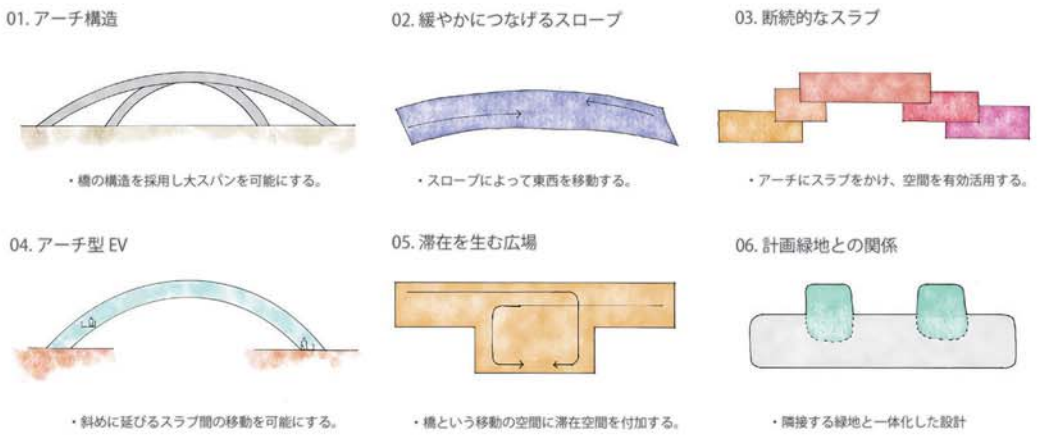
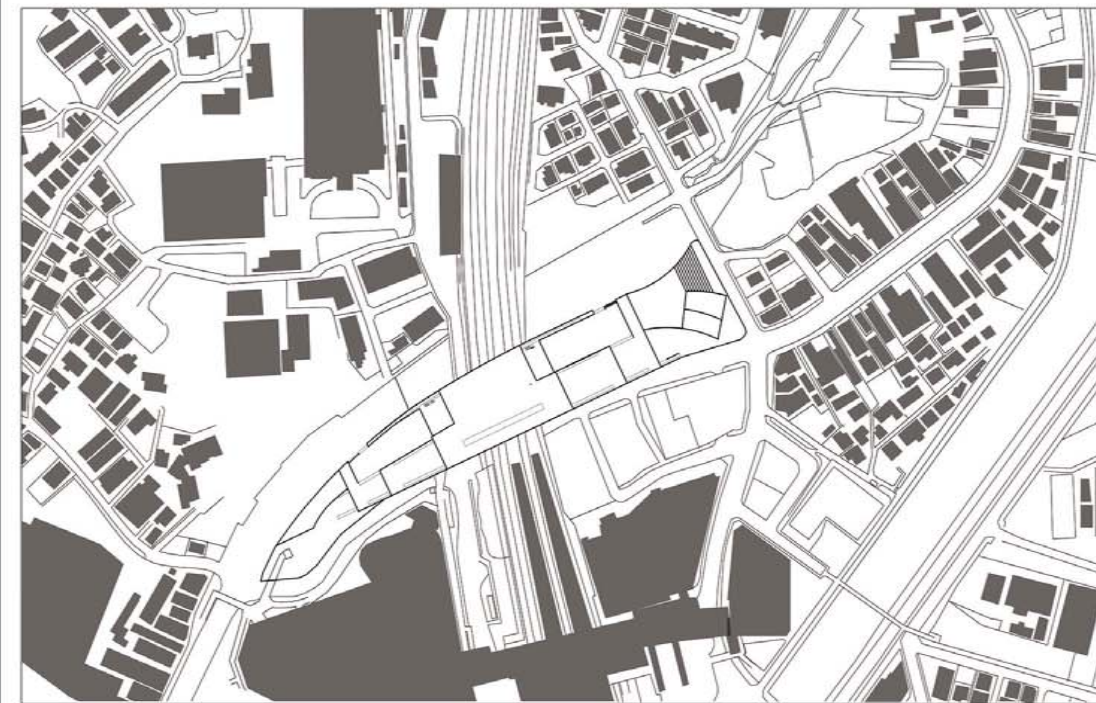


diagram 橋の形態



■ site plan

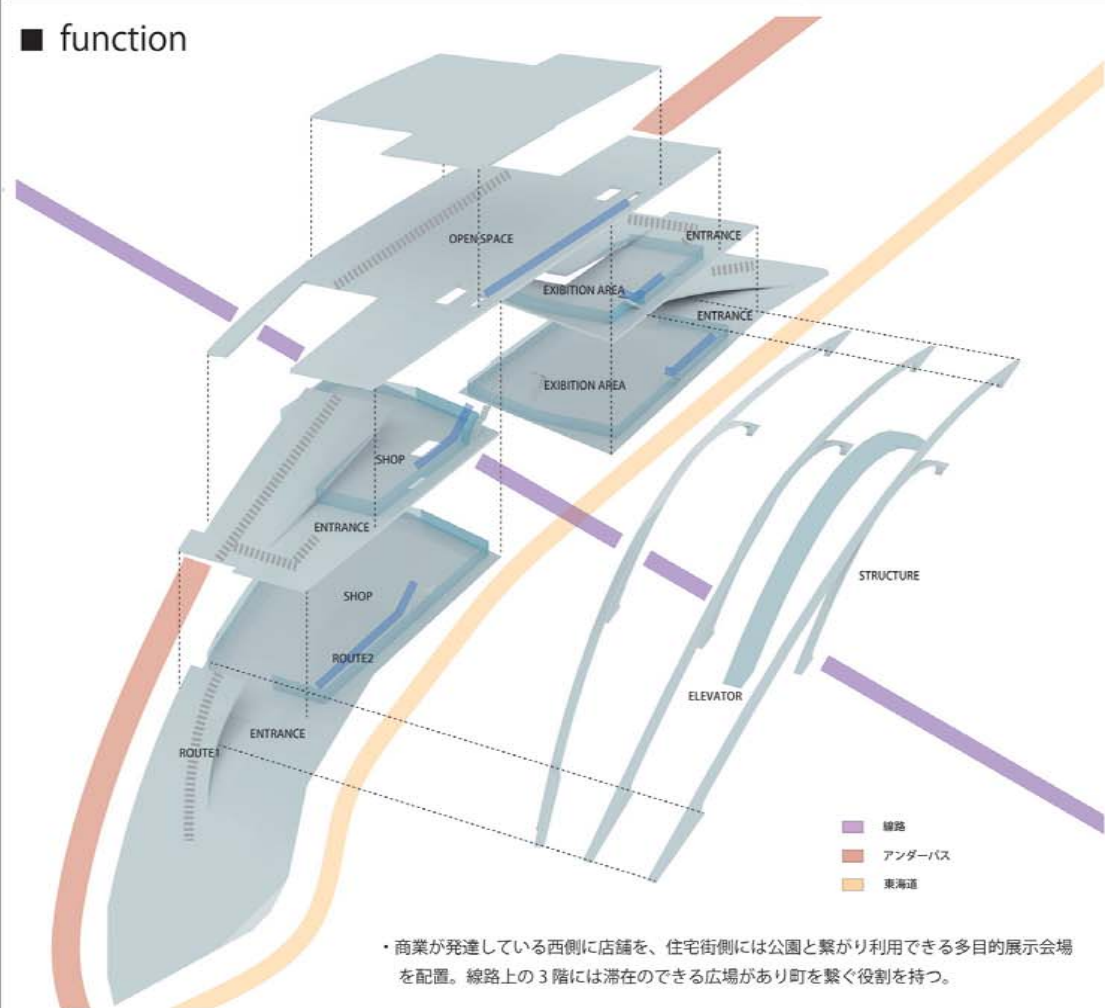


1/1500



aerial view from south

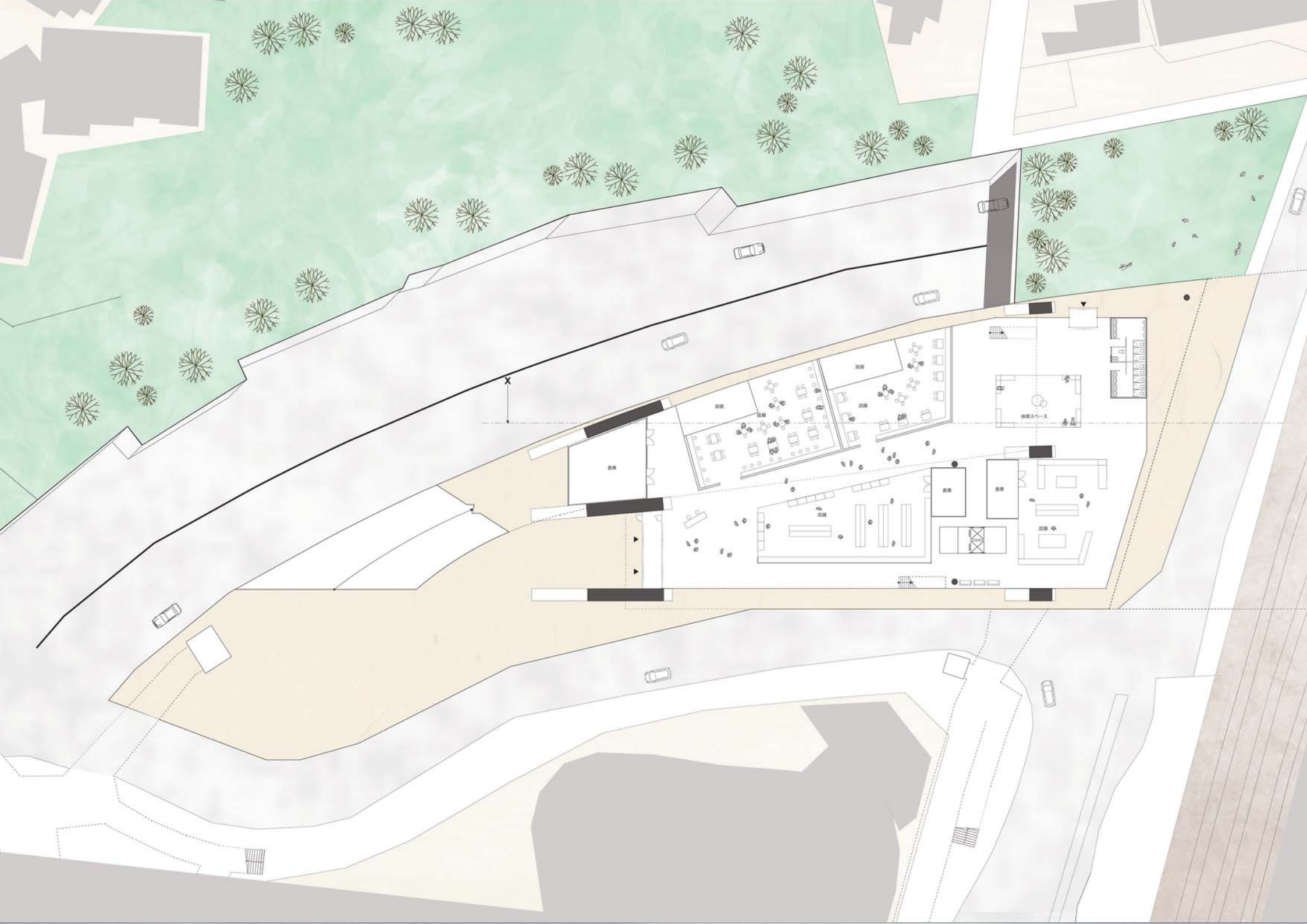
■ function



・商業が発達している西側に店舗を、住宅街側には公園と繋がり利用できる多目的展示会場を配置。線路上の3階には滞在のできる広場があり町を繋ぐ役割を持つ。



view of west side

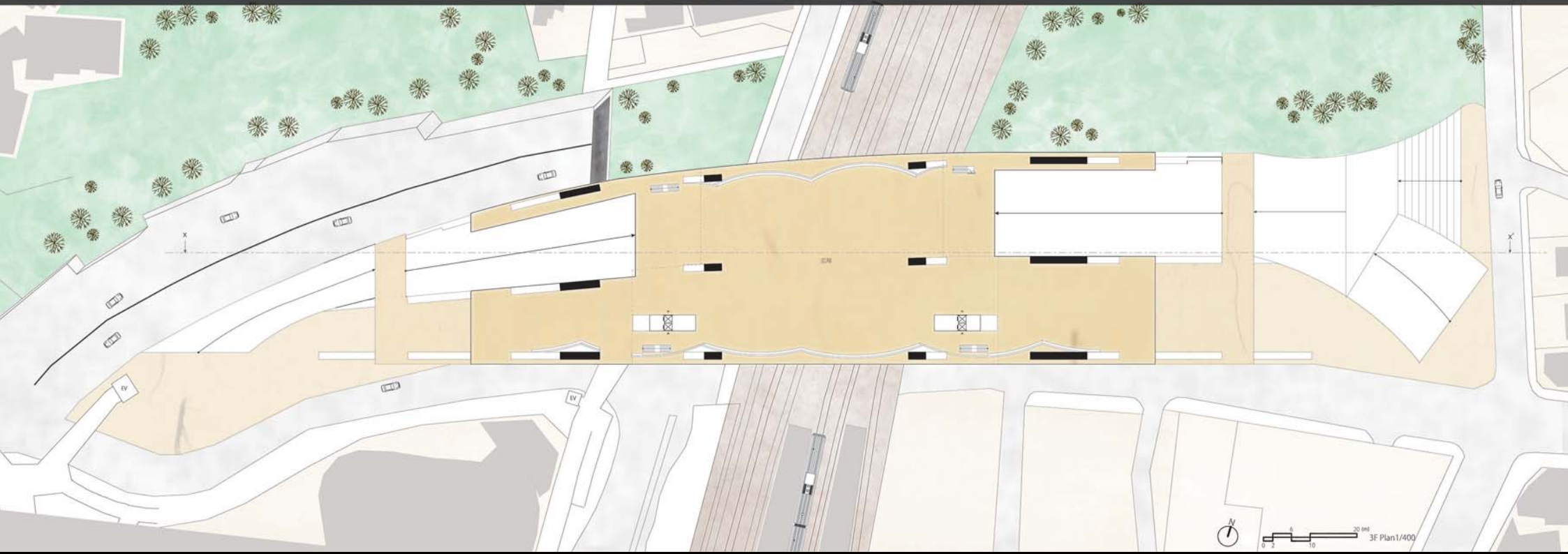
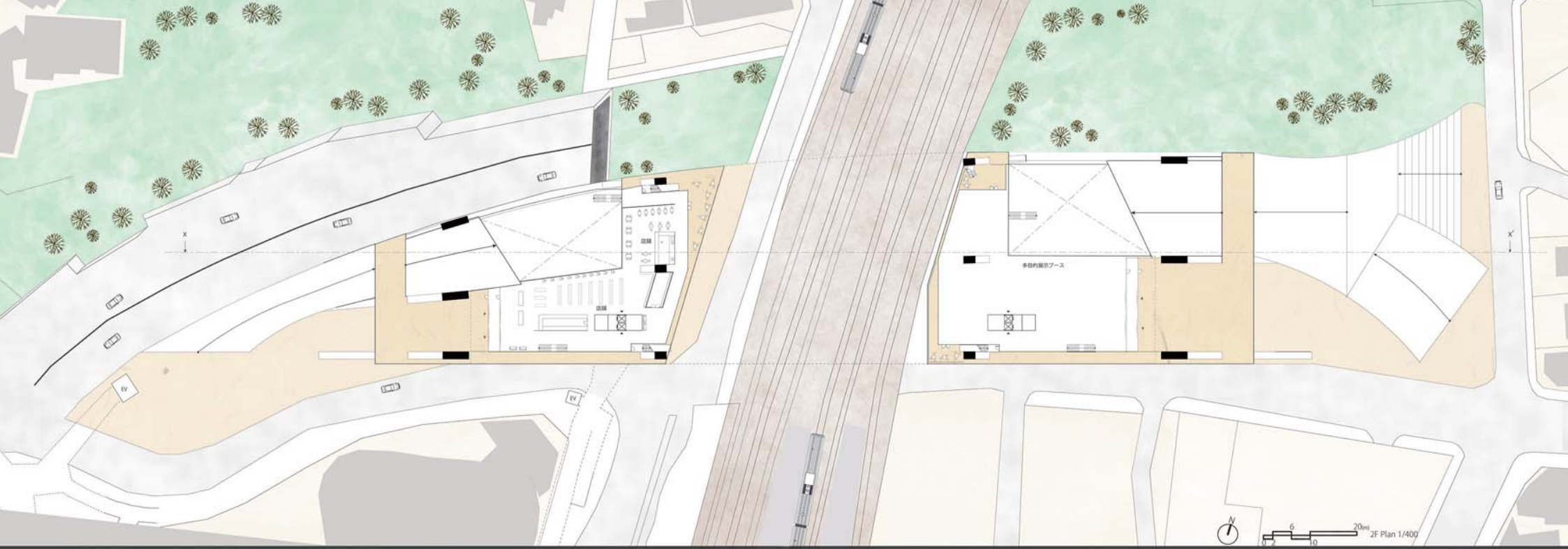


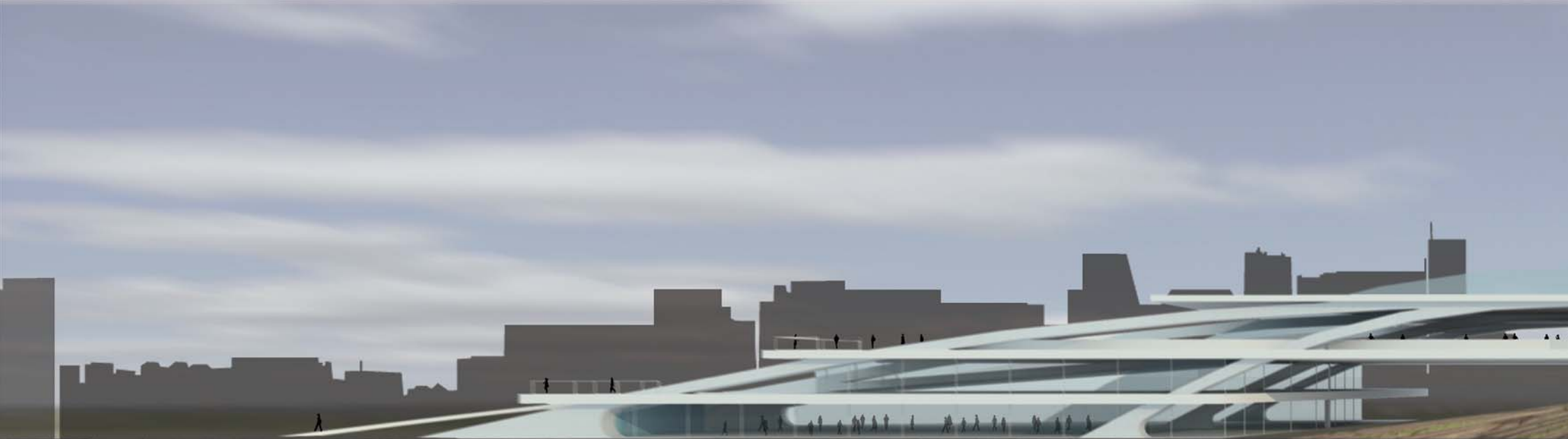


多目的展示7-2



0 2 6 10 20 (m) 1F Plan 1/200





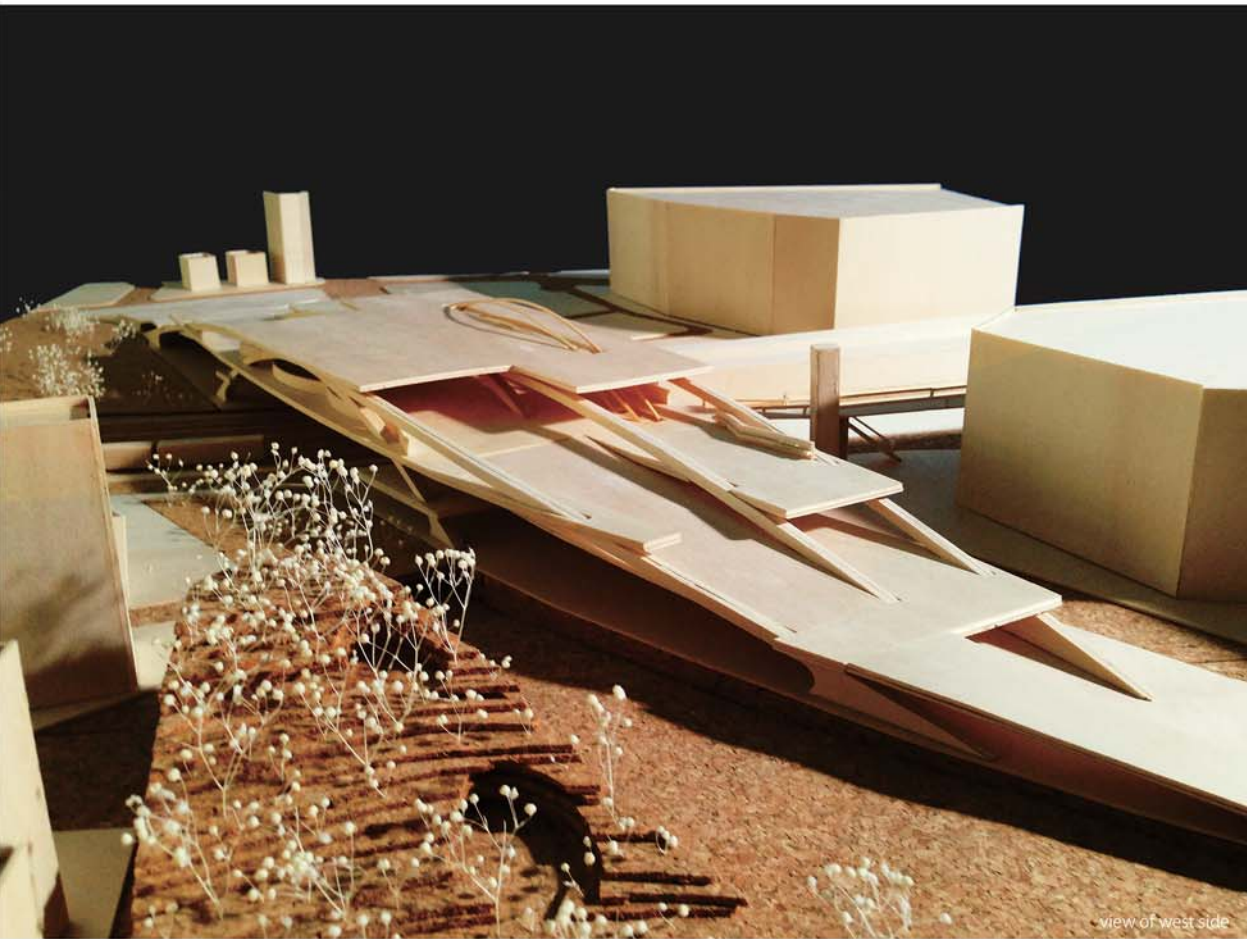


view from south side

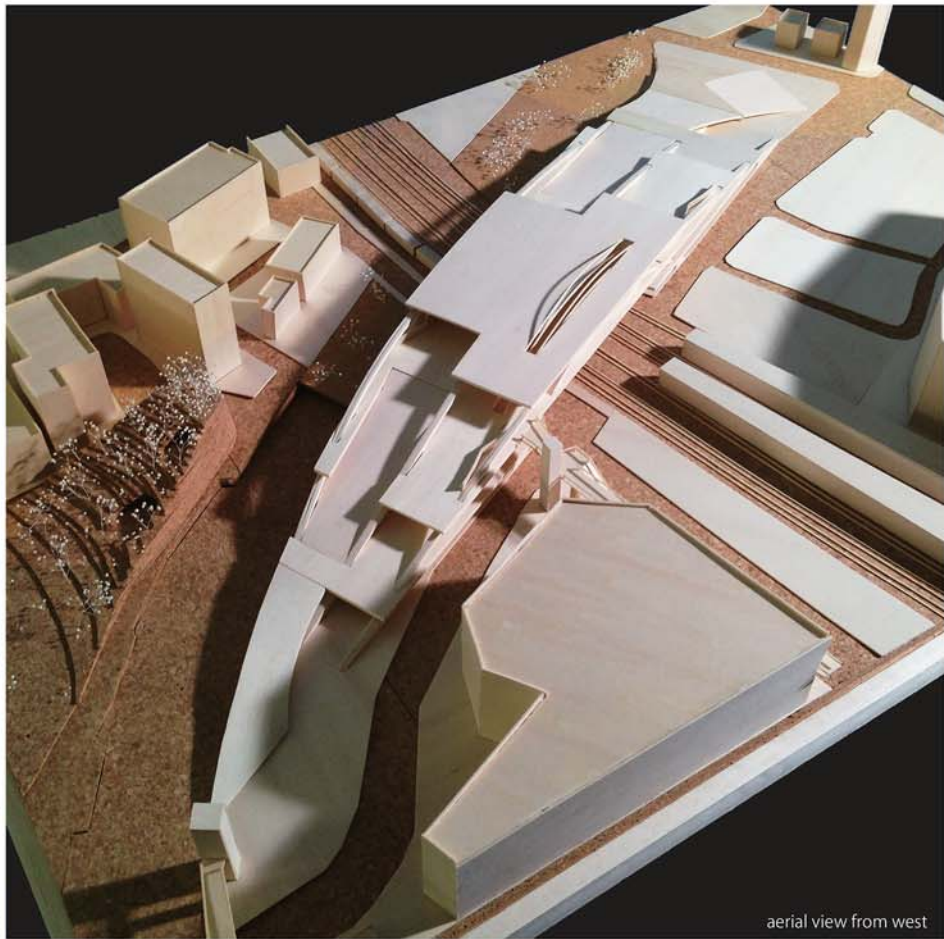


X-X' section 1/200





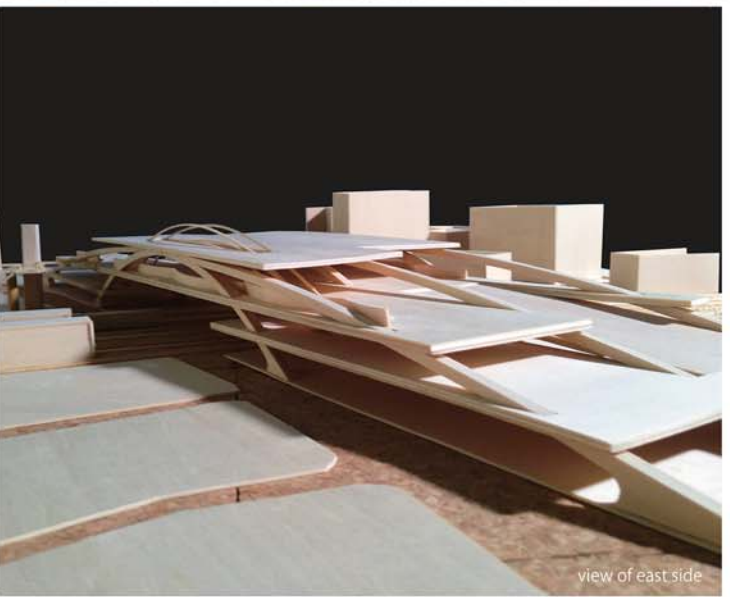
view of west side



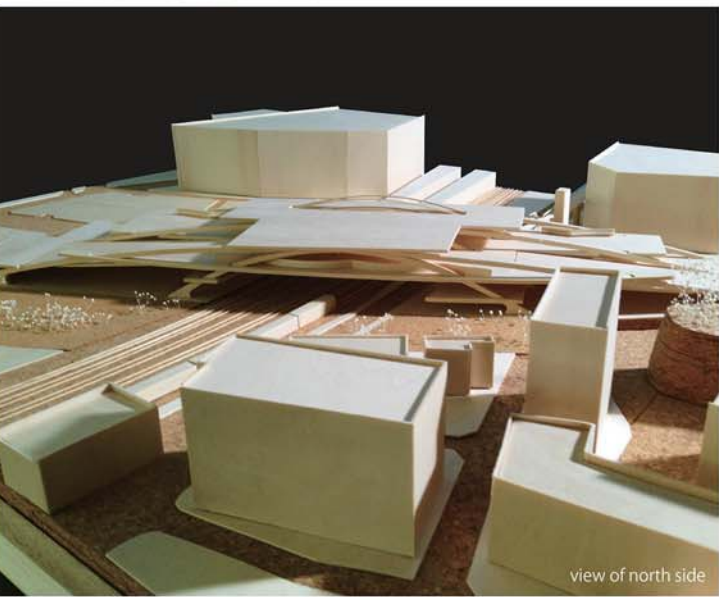
aerial view from west



view of south side



view of east side



view of north side